

ID: [REDACTED]

[REDACTED] 様

性別 [REDACTED] 生年月日 [REDACTED]

処方箋が出されます。
治療と処方薬の確認のため
薬局窓口でこの説明書を提示
してください。

【ジェブタナ療法】(ステロイド連日併用)

スケジュール: 通常3週間に1度治療を行います。

体調や検査値、副作用によってはスケジュールや点滴時間を変更する場合があります。

		今回のサイクル														次サイクル																											
		4														5																											
日付		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
点滴	ジェブタナ (カバジタキセル)	 カバジタキセルは、腫瘍の細胞分裂を阻止することで、腫瘍増殖を抑制するお薬です。他の治療で抵抗性となった腫瘍にも効果が期待できます。アレルギー症状の発現に注意し、はじめの10分間はゆっくり点滴し、その後通常速度で点滴します。カバジタキセルにごく少量のアルコールが含まれています。																																									
	内服	ステロイド系薬	 ジェブタナ治療中に継続服用することで治療に伴う諸症状を緩和します。(通常は1日2錠を服用します)																																								
副作用	過敏症状	  点滴中に起こる可能性があります。息苦しい、ドキドキする、かゆみ・発疹が出る等の症状がありましたらすぐにお知らせください。																																									
	吐き気・食欲不振	  ほとんど吐き気はみられない薬剤ですが、もし症状がみられたら我慢せずにお知らせください。																																									
	倦怠感	治療期間中倦怠感が起こることがあります。無理をせずに体を休めましょう。激しい倦怠感や黄疸、急なむくみなどを伴う場合には肝臓や腎臓の働きが悪くなっていることが考えられますので、すぐにご連絡ください。																																									
	骨髄抑制	 治療日から6～14日後は感染に対する抵抗力が下がります。感染やけがに注意し、清潔に心掛けて下さい。この期間の感染症を防ぐために、必要に応じて好中球(白血球の一種)を増やすお薬を使うことがあります。																																									
	筋肉痛・関節痛	 治療日から2～3日目に発現することがあります。痛み止めで症状を軽減でき、数日で軽快します。																																									
	末梢神経障害	3～5日目頃から発現します。感覚や運動の麻痺、手足のしびれ、手足の痛みなどを感じる場合があります。投与回数が増えると増強する傾向があります。																																									
	下痢	症状の出方や程度には個人差があります。下痢止めで対処します。下痢止めを指示通り使用し、それでも症状が落ち着かない、増悪するなどありましたら、はやめに伝えてください。下痢発現時には脱水にならないよう水分(経口補水液、スポーツドリンクなど)を十分に摂るようにして下さい。																																									

治療期間中は免疫能が低下しています。一般の方には影響のない弱い菌で肺炎を起こすことがありますので、感染には注意し、発熱、咳、息切れなどの異常時にはすぐにご連絡ください。予防として抗生剤(ハク錠)を服用することがあります。その場合、発熱時に服用する抗生剤とは目的が異なります。副作用の出方には個人差があります。また、発疹、脱毛、涙目、味覚障害など、上の表以外の副作用が出ることもあります。詳しくは小冊子を参照してください。不快な副作用はできるだけ軽くするように支援しますので、辛い症状がある場合には医療スタッフに相談してください。



千葉県がんセンター 薬剤部
千葉市中央区仁戸名町666-2
TEL: 043-264-5431